

心豊かな暮らしと社会のために 暮らしの視点から 移動と移動手段を考える

自己紹介



- スイス留学・カンボジアNGOなど
- ● ● 離れた若者の声を聞きたいと採用される
旅客・貨物・販売・整備・メーカー・運輸局・
自治体などを取材する(株)自動車新聞社 記者（本社は神戸）
- 分野横断的に取り上げるモビリティ情報誌「LIGARE」
初代編集長
- 東京モーターショー2013スマートモビリティシティ2013
- 土木計画学少子高齢化社会における
子育てしやすいまちづくり研究小委員会委員
- 次世代タウンモビリティプロジェクト
- 再生塾
- 公共交通マーケティング研究会 幹事
- 国土交通省「自転車活用推進に向けた有識者会議」委員
- 名古屋市交通問題調査会 委員
- 国土交通省 交通政策審議会交通体系分科会第15回地域公共
交通部会 臨時委員
- 国土交通省 MaaS 関連データ検討会 委員

気軽にご連絡ください



モビリティジャーナリスト 楠田悦子

E-mail info@leben-kurashi.com

日本の交通政策における 新モビリティサービス MaaS活用の可能性

～国内外の事例紹介～



2019年 11月
関東運輸局

モビリティジャーナリスト
楠田悦子

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段のビジネス環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシー

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段のビジネス環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシー

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

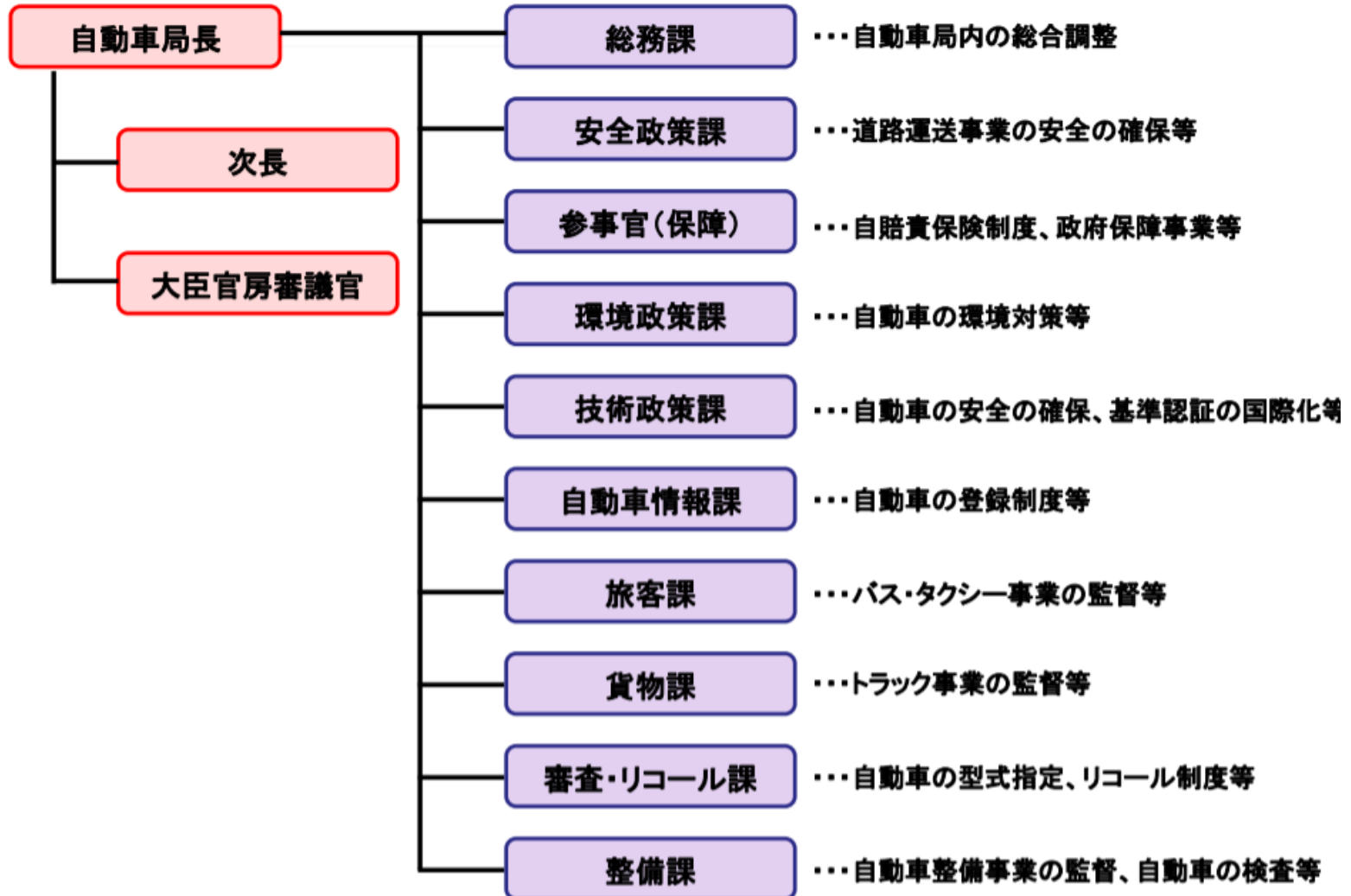
- 習い事の送迎が大変
- 通学路が危険
- 隣町までの通学が大変
- クルマ依存で
- 公共交通はほとんどない
- 免許返納後の暮らしはどうする？
- 障害者お出かけしにくい

兵庫県 田舎育ち



業界紙 自動車新聞社

自動車局の組織(平成28年4月1日~)



ひと・まち・モビリティ

LIGARE

JUL
2018
VOL
41



日本版 MaaS の道を切り開く

新会社・J MaaS 設立で MaaS 事業へ参入

—ジョルダン 代表取締役社長 佐藤俊和氏 インタビュー

「人にフォーカス」した移動へ MaaS への取り組み

—ヴァル研究所 代表取締役社長・太田信夫氏インタビュー

「リガート」
41
VOL. ¥1,800 tax

LIGARE

社会課題と移動全体を考えるため 2013年独立 移動手段とサービスの多様化高度化

個々人に着目した
心豊かな暮らし



社会の課題解決にどのようにまちを再構築し

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

どのように移動手段を活用するか

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

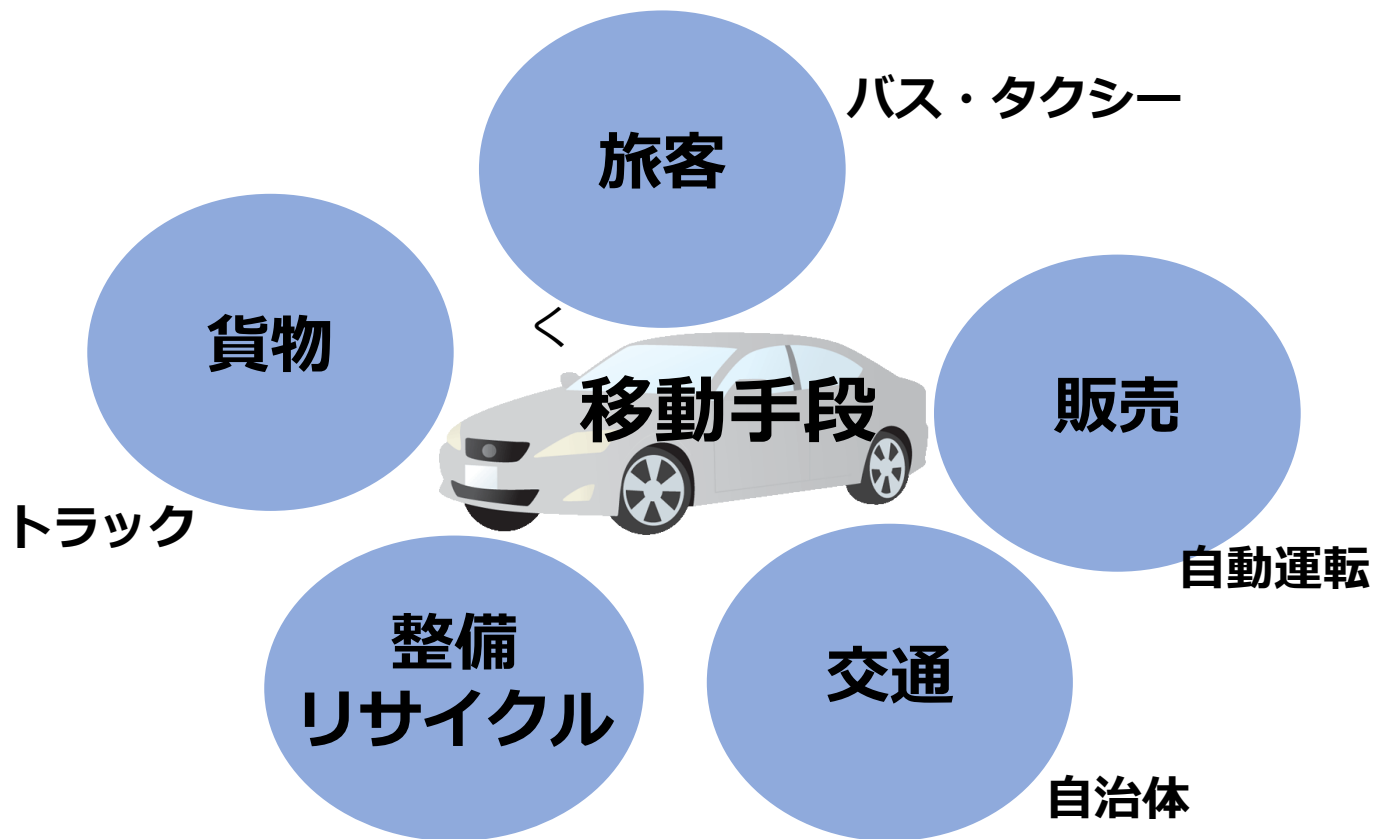
バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

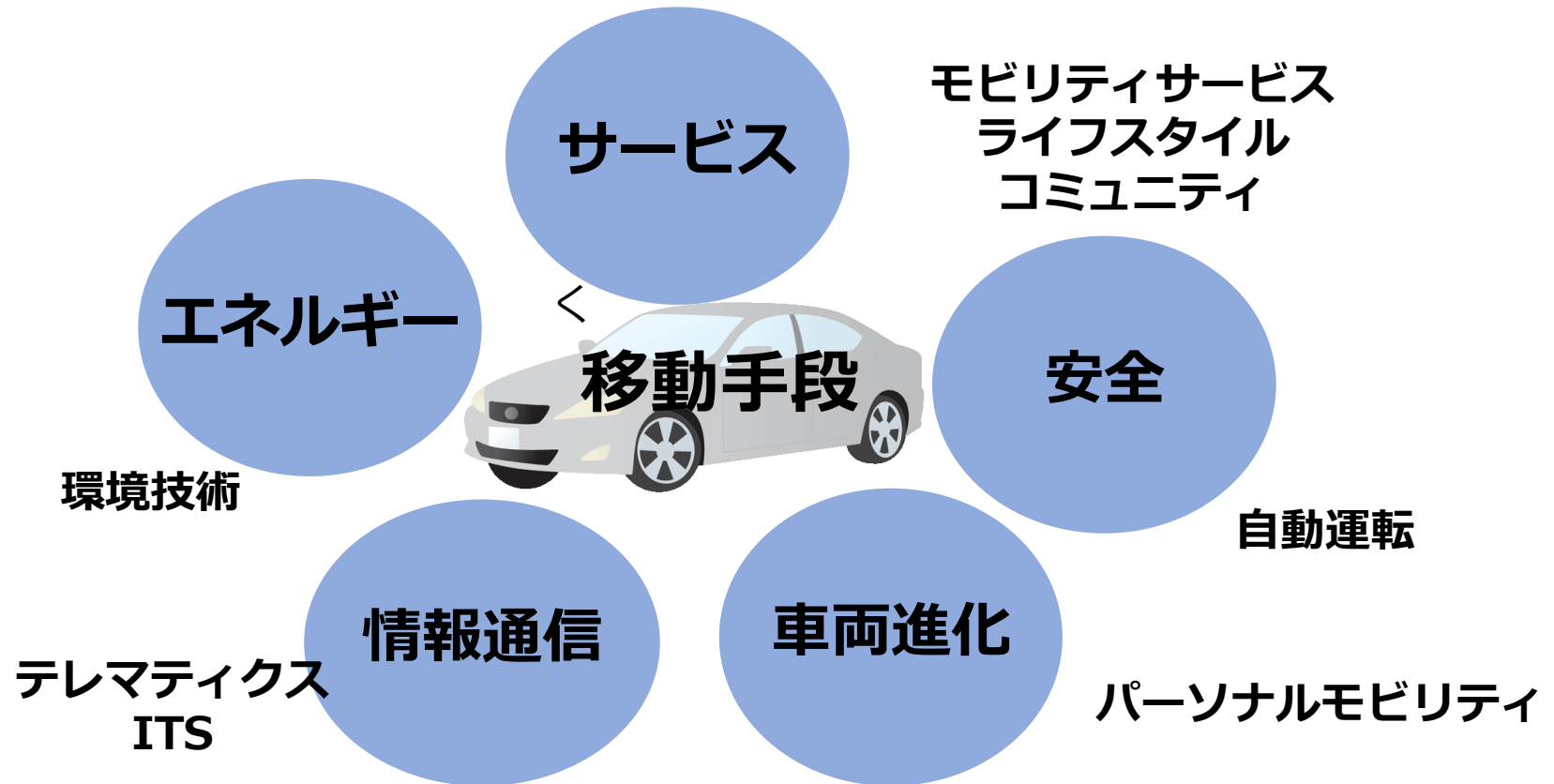
なぜ、活動しているのか？ 自動車業界紙で感じたこと

国交省の地方運輸局
高齢化、若者、女性、グローバルがない



なぜ、活動しているのか？ 自動車業界紙で感じたこと

クルマの進化 暮らしや社会をより良くする観点から
考える人材不足



なぜ、活動しているのか？ 自動車業界紙で感じたこと

理想 暮らしや社会をより良くするために



横断的・多層的な
連携が望ましいが

都市経営の全体戦略

各々が無関心…

自治体 コミュニティ

福祉 住宅 教育 観光 経済・産業

地域交通

交通事業者

移動手段の高度化・多様化

自転車の活用推進に向けた有識者会議 委員

絹代		サイクルライフナビゲーター
楠田	悦子	モビリティジャーナリスト
久野	譜也	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
久保田	尚	埼玉大学大学院理工学研究科教授
佐藤	洋一	ブリヂストンサイクル株式会社専務執行役員
高橋	信行	國學院大學法学部教授
長嶋	良	一般財団法人全日本交通安全協会事務局長
屋井	鉄雄	東京工業大学副学長・教授
矢ヶ崎	紀子	東洋大学国際観光学部准教授

平成29年5月1日に施行された自転車活用推進法において、政府は、法の基本理念及び基本方針に即し、自転車の活用の推進に関し講ずべき必要な措置を定めた自転車活用推進計画を策定することと規定されました。これを受け、計画を策定する上で、自転車活用の推進に係る様々な課題について有識者の方々より専門的見地に立ったご意見を頂くため、「自転車の活用推進に向けた有識者会議」

AI IoT 自動運転時代のモビリティについて



未来授業 第1回
楠田悦子 Vol. 1598



UPDATE 2019-03-11 20:00

Bikeable City Masterclass 2019



イギリス、ポルトガル、スイス、フランス、アメリカ、カナダ、メキシコ、パナマ、チリ、南アフリカ、シンガポール、日本。自治体関係が多い




戻りたい、NHKも。
瀬戸内

24時間
営業
中

防犯カメラ
作動中

**心もからだも元気で健康な
高松丸亀町商店街
次世代タウンモビリティプロジェクト**

- 
- 歩行者
 - 免許不要
 - 法整備・量産化
 - 時速6km
 - 電気で動く
 - 自宅で充電
 - 約40万程度
 - 介護保険適応
 - 人に頼まなくて済む

時速6キロのEVで免許返納後の
移動手段を考えています

Bikeable City Masterclass 2019



イギリス、ポルトガル、スイス、フランス、アメリカ、カナダ、メキシコ、パナマ、チリ、南アフリカ、シンガポール、日本。自治体関係が多い

参考 モビリティって?!



モビリティの言葉の認識もばらばら

「クルマ」と考える人も多い

Mobility = ability to move

移動可能性、移動できること、移動能力

**環境的、経済的、社会的に持続可能であることが
重要 移動しないことも考えの一つ**

引用 横浜国立大学 有吉先生

転じてモビリティツールをモビリティ

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段のビジネス環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシー

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

暮らしと社会の転換期

＜暮らしの転換期＞

長寿命かつ人口減少社会、家族の形が変わり、人々の価値観も変わる

⇒自分のことは自分でできるだけ
できる限り健康で それがQOLと自由につながる

＜暮らしの環境の転換期＞

(行政)

- ・行政サービスがこれまで通りにいかなくなる
画一的ではなく、地域に応じた最適化
⇒人口密度を上げるか、ICT活用した遠隔サービス

(産業)

- ・人手不足や国内市場の縮小により、産業や構造の変革が必要となる 高付加価値、省力化

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段のビジネス環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシー

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

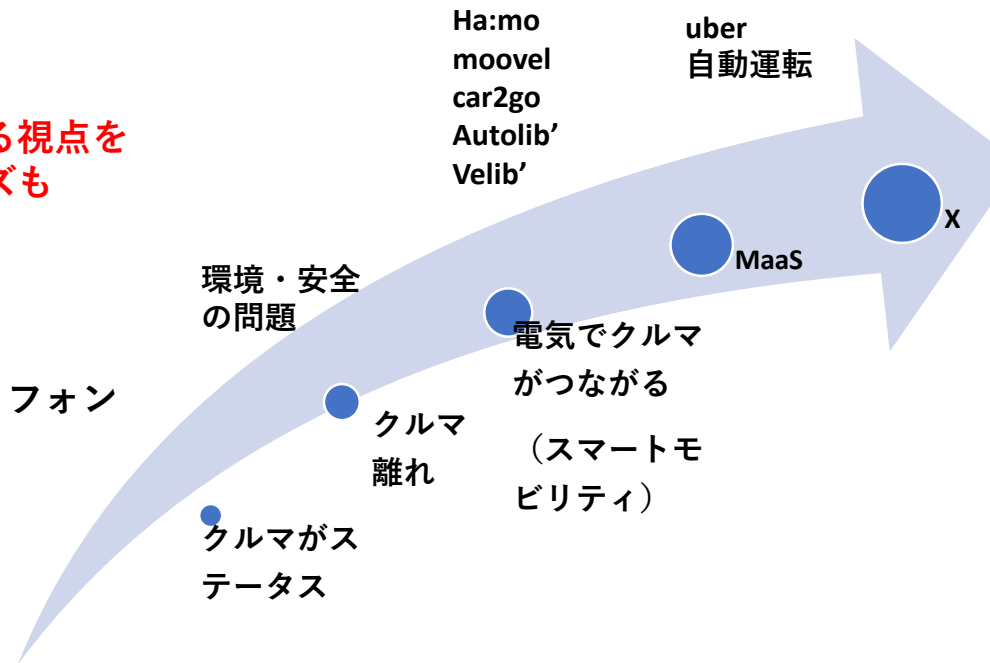
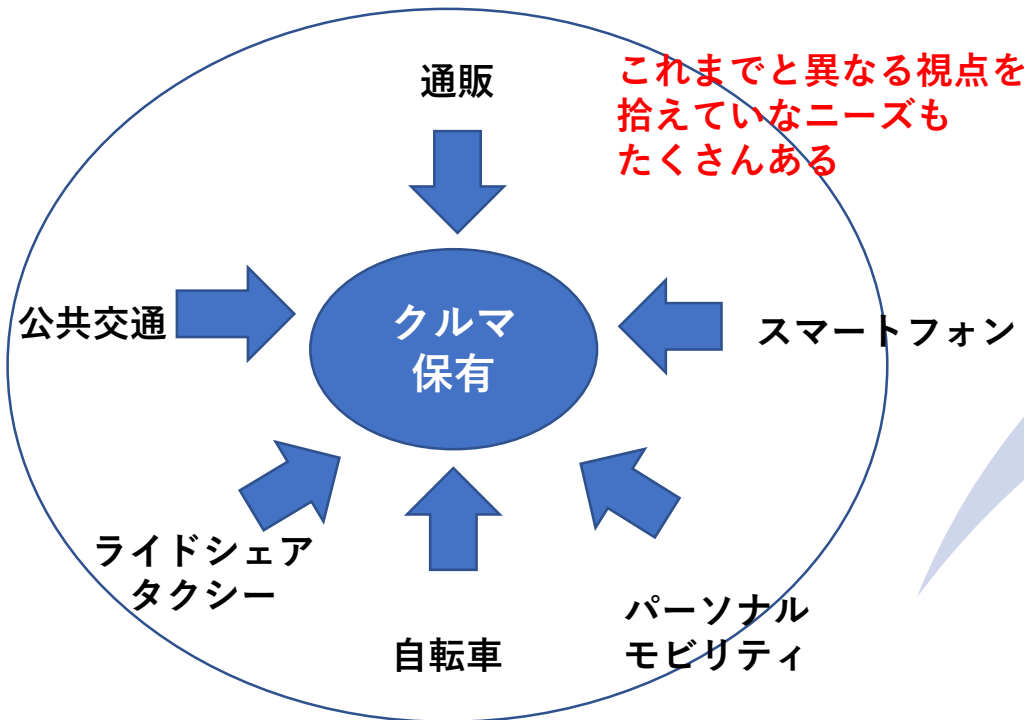
近年の自動車メーカーの動き

社会や個々人の移動のニーズや環境が変化

政策、技術、社会、経済などの環境の変化
自動車業界→

モビリティ（移動）業界へ

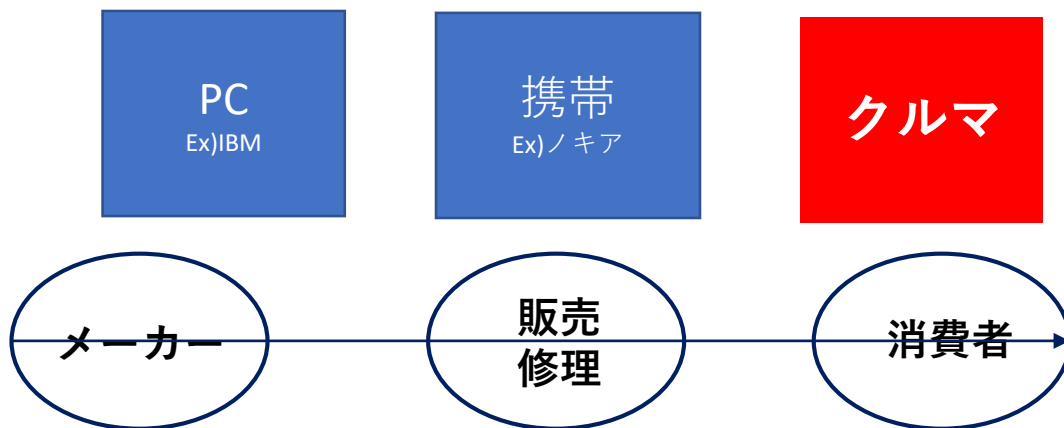
競争激化



IoT AI時代 **クルマもデバイスに** PCや携帯のように

※アレックスモサド・ニコラス他のプラットフォーム革命などを参考に編集

モノを作る



※注意
・人の命を預かる
クルマは
携帯などより
作るの難しい
・クルマの根幹の
情報は死守したい

クルマを作る

CASE

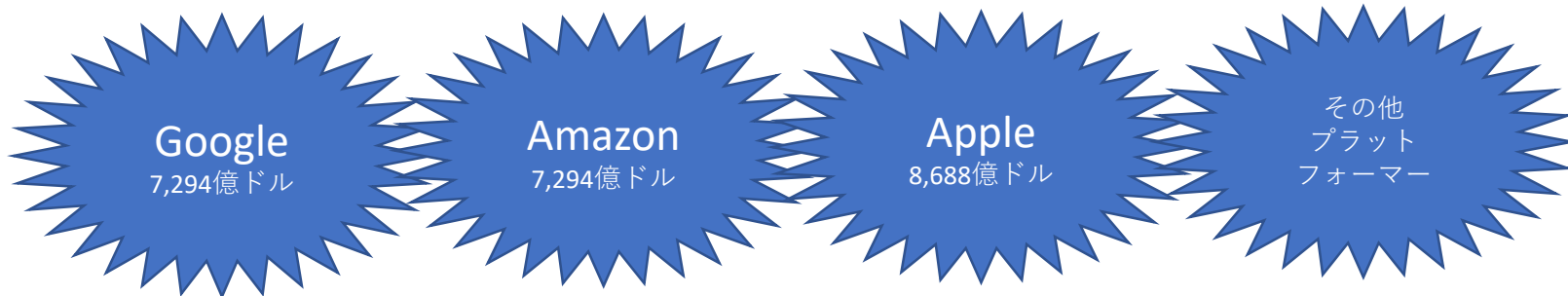
コネクテッド
自動運転
シェアリングサービス
電動化

モノ&サービス



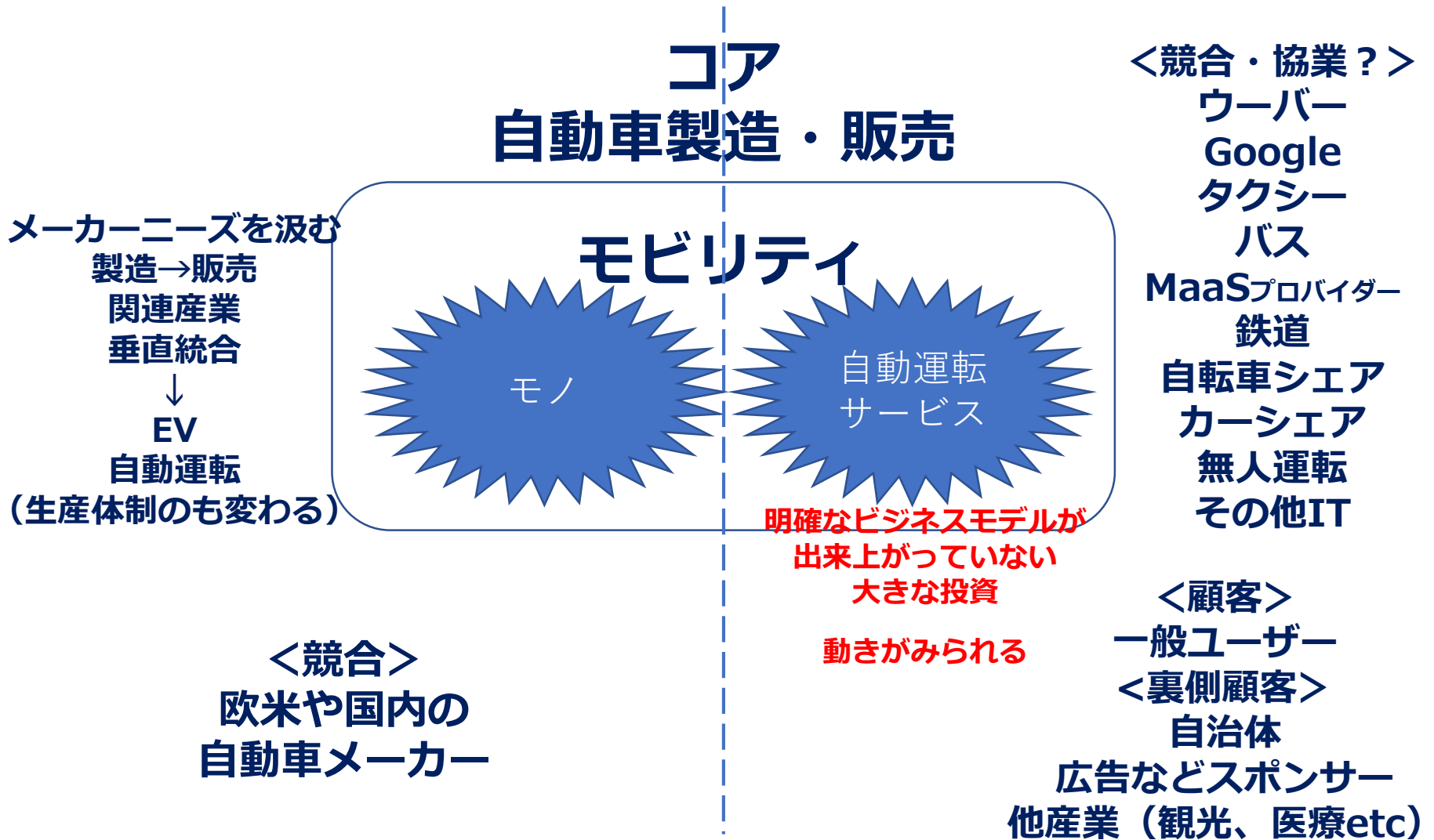
トヨタも
あらゆる移動サービスを提供する
モビリティカンパニーへ

クルマ&サービス



Mobility as a Service

IoT AI 電動化時代 **クルマもデバイスに** 自動車メーカーの自社マーケットが変化・拡大



自動車メーカーがMaaSを意識

CASE

Connected コネクテッド

Autonomous 自動運転

Shared & Service シェアリングサービス

Electric 電動化

限定地域における自動運転レベル4

自動運転車は相乗り、ライドシェア、バス、タクシーといった使われ方が想定される

MaaSはCASEを内包

3. マルチモーダルパッケージ



- 自動運転社会を迎えるための素地づくりにMaaSはツールとして良い
- 自動運転が実現した時の都市や社会をまだ誰も描けていない。それを議論したり、情報収集したり、シミュレーションしたりする必要がある
- あらゆる専門家を集めている



ダイムラーのMaaSアプリ「moovel（ムーベル）」



MOOVEL BECOMES



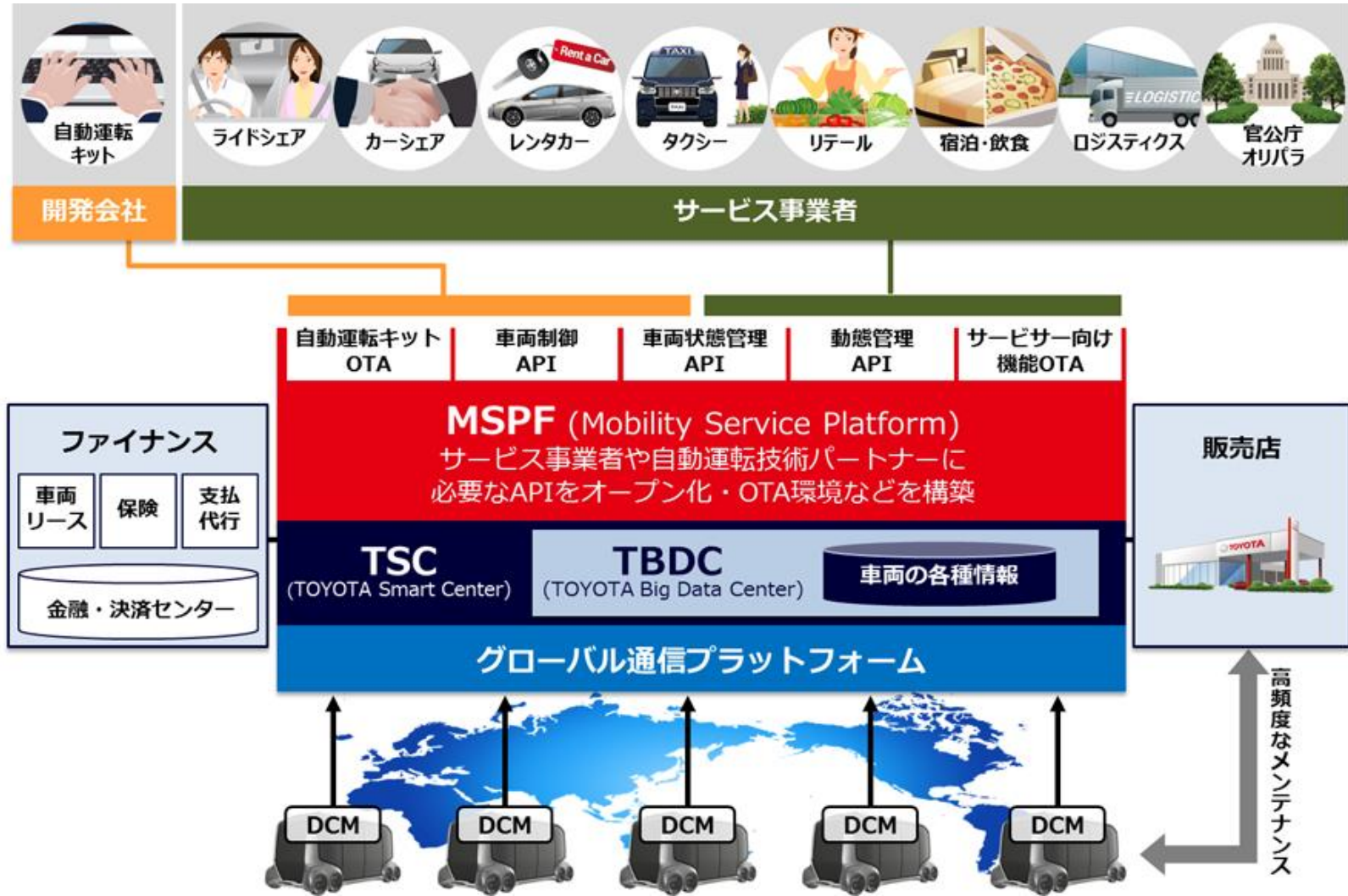
MOBILITY SERVICES
BY BMW GROUP AND DAIMLER AG
UNDER ONE UMBRELLA

DAIMLER

BMW
GROUP



トヨタ自動車



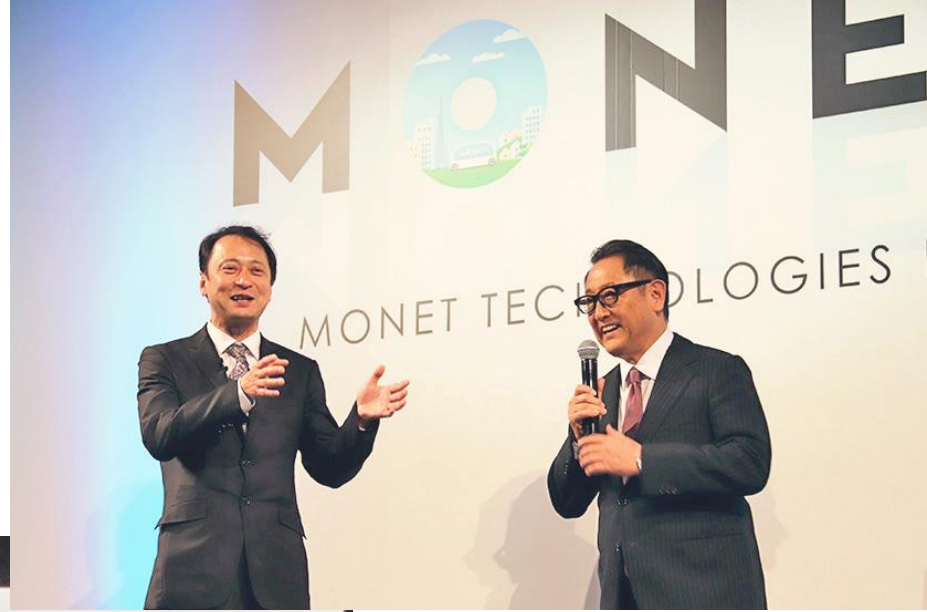
出典：トヨタ自動車 e-Palette Conceptを活用したMaaSビジネスにおけるMSPF



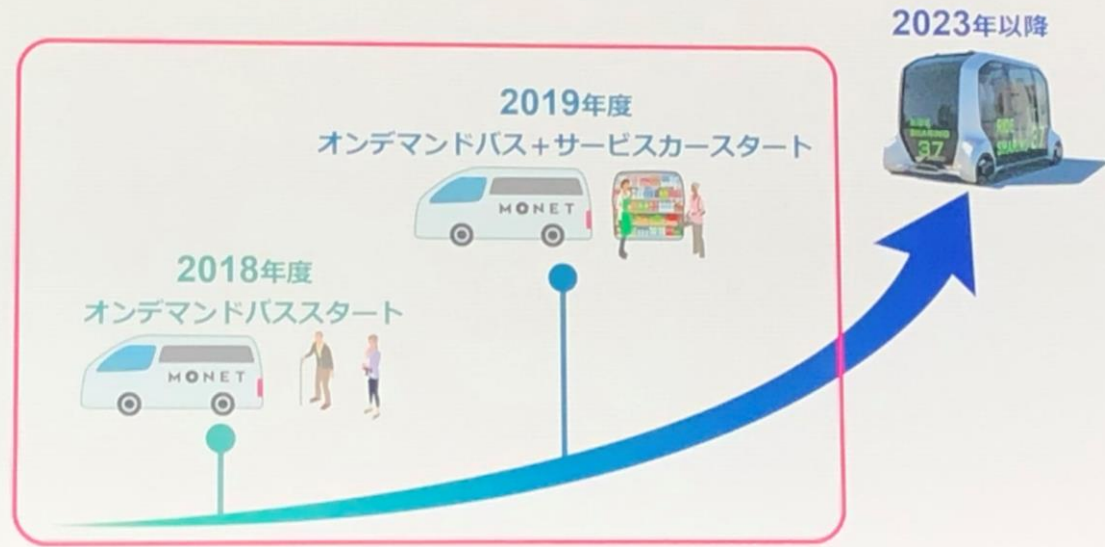
Mobility as a Service



**トヨタとSB「ウーバー」に出資 「自動運転」で
1100億円** 出典:FNN



自動運転車導入への基盤を築く時期

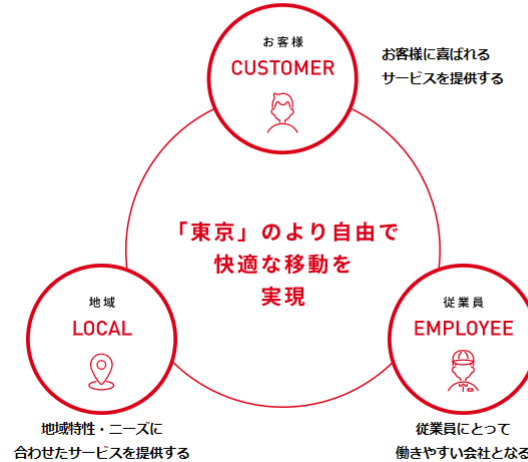


トヨタが販売店の4チャネルを統合

トヨタモビリティ東京として生まれ変わります！

Toyota Mobility Tokyo

自動車は「所有」から「利用」に変化しつつあります。
私たちはお客様に最適なモビリティサービスをご提供するため、スケールメリットを活かした
今まで以上にお客様に寄り添える販売店を目指します。



TOYOTA	トヨタ店
全国の販売店一覧 トヨタ店取扱車種一覧	戦前戦後にかけてトヨタの発展を支え、約70年以上の歴史を持つトヨタ車販売のバイオニア的なチャネル。歴史と伝統に裏打ちされた上質なおもてなしを展開している販売チャネル。

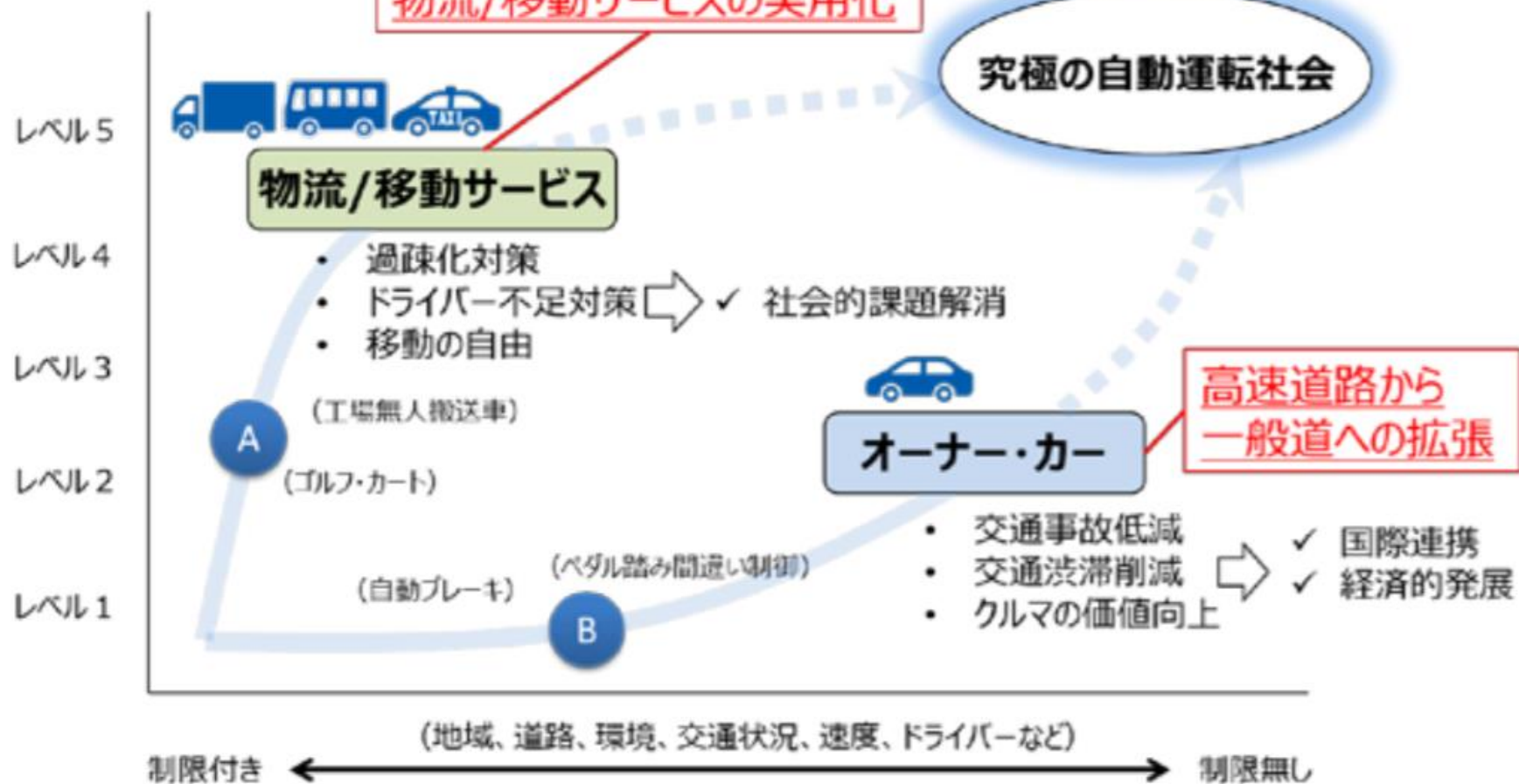
TOYOPET	トヨペット店
全国の販売店一覧 トヨペット店取扱車種一覧	1953年に設立されたトヨタで2番目のチャネル。コロナやマークIIを中心に時代を切り拓き、常に日本のミディアムカー市場をリードしている販売チャネル。

COROLLA	カローラ店
全国の販売店一覧 カローラ店取扱車種一覧	1961年にパブリカを扱うパブリカ店として営業を開始し、その後1969年、カローラ店に名称を変更。ロングセラーを続けるカローラをはじめ、豊富な品揃えの量販チャネル。

Nett	ネッツ店
全国の販売店一覧 ネッツ店取扱車種一覧	2004年にネッツ・ピスタ両チャネルが融合し、新しい「ネッツ店」が誕生。ヴィッツ等のコンパクト車種や、ヴェルファイア等のミニバン車種などをラインナップし、トヨタの新しいお客様層を拡げていくチャネル。

いろいろな自動運転の活用 SIPロードマップ

SAE*自動運転レベル



*SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体

内閣府 SIP 平成30年7月19日

https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/keikaku2/4_jidosoko.pdf

すべてが「シェア」「自動」にならない

田舎はやっぱり「保有」
いろいろな自動手段を上手に活用



目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段の環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシー

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

CITY LIFE

On a bicycle the city can be experienced spontaneously and up close and personal. The more there is to sense and experience when you roll through the city, the shorter the trip feels and it becomes more attractive to cycle.

Cyclists appreciate having things to look at but they also contribute greatly to life in Copenhagen's streets. They make the city safer and nicer for everyone to move about in.

世界の潮流
自転車活用＋電動スローモビリティ
観光＋生活交通にも

自転車の活用推進に向けた有識者会議 委員

絹代		サイクルライフナビゲーター
楠田	悦子	モビリティジャーナリスト
久野	譜也	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
久保田	尚	埼玉大学大学院理工学研究科教授
佐藤	洋一	ブリヂストンサイクル株式会社専務執行役員
高橋	信行	國學院大學法学部教授
長嶋	良	一般財団法人全日本交通安全協会事務局長
屋井	鉄雄	東京工業大学副学長・教授
矢ヶ崎	紀子	東洋大学国際観光学部准教授

平成29年5月1日に施行された自転車活用推進法において、政府は、法の基本理念及び基本方針に即し、自転車の活用の推進に関し講ずべき必要な措置を定めた自転車活用推進計画を策定することと規定されました。これを受け、計画を策定する上で、自転車活用の推進に係る様々な課題について有識者の方々より専門的見地に立ったご意見を頂くため、「自転車の活用推進に向けた有識者会議」

運転免許の要らない移動手段は、非常に少ない
田舎は「所有」 市民権を得ている移動手段は「自転車」

個々人に着目した
心豊かな暮らし

ポイント
自転車に取組むと
他のスローモビリティも
導入しやすい



社会の課題解決にどのようにまちを再構築し

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業

観光

どのように移動手段を活用するか

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

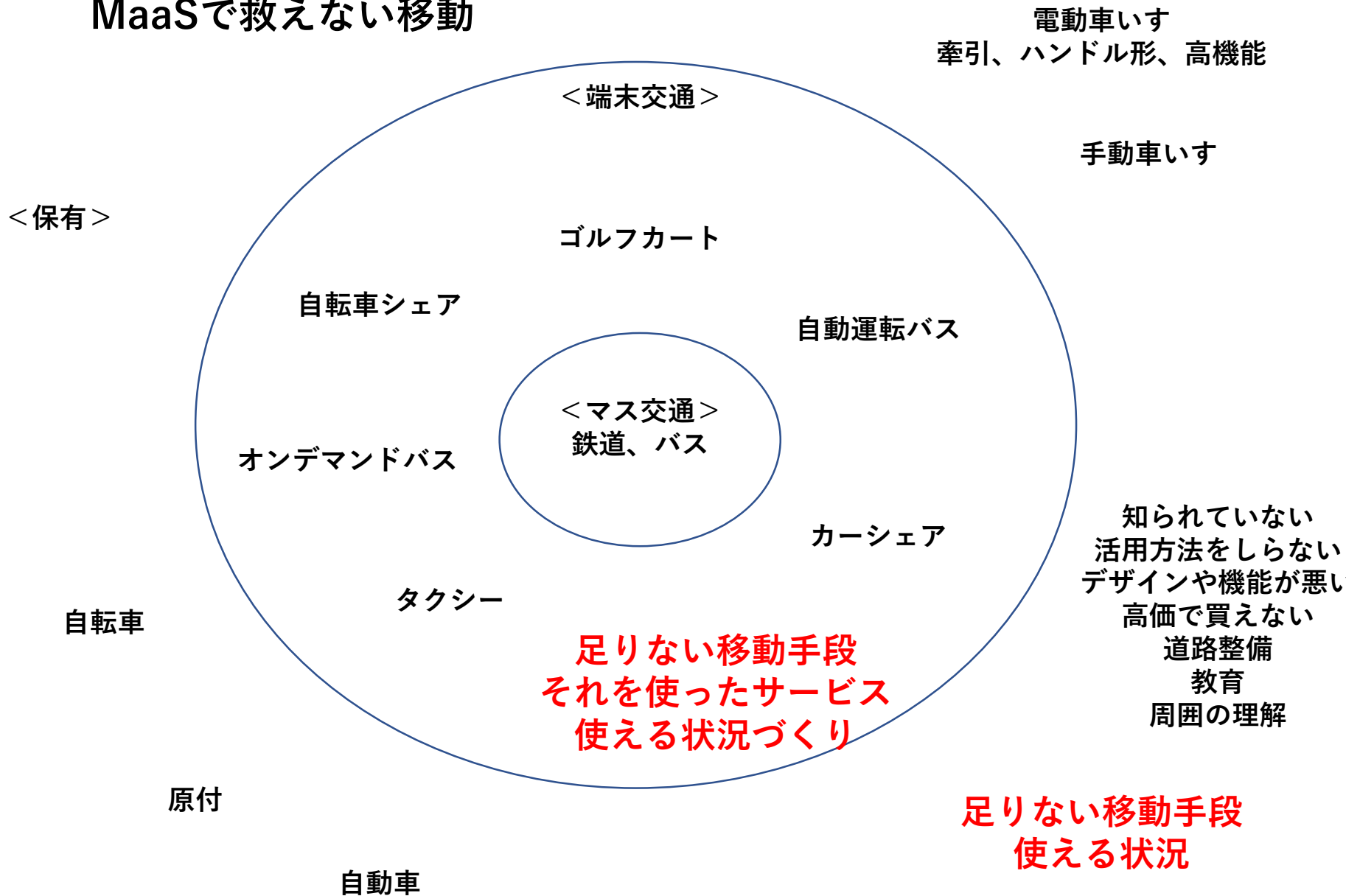
自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

住み続けるために必要な移動手段 MaaSで救えない移動



軽自動車未済に可能性がまだある 原点回帰を

個々人に着目した
心豊かな暮らし



社会の課題解決にどのようにまちを再構築し

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

どのように移動手段を活用するか

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

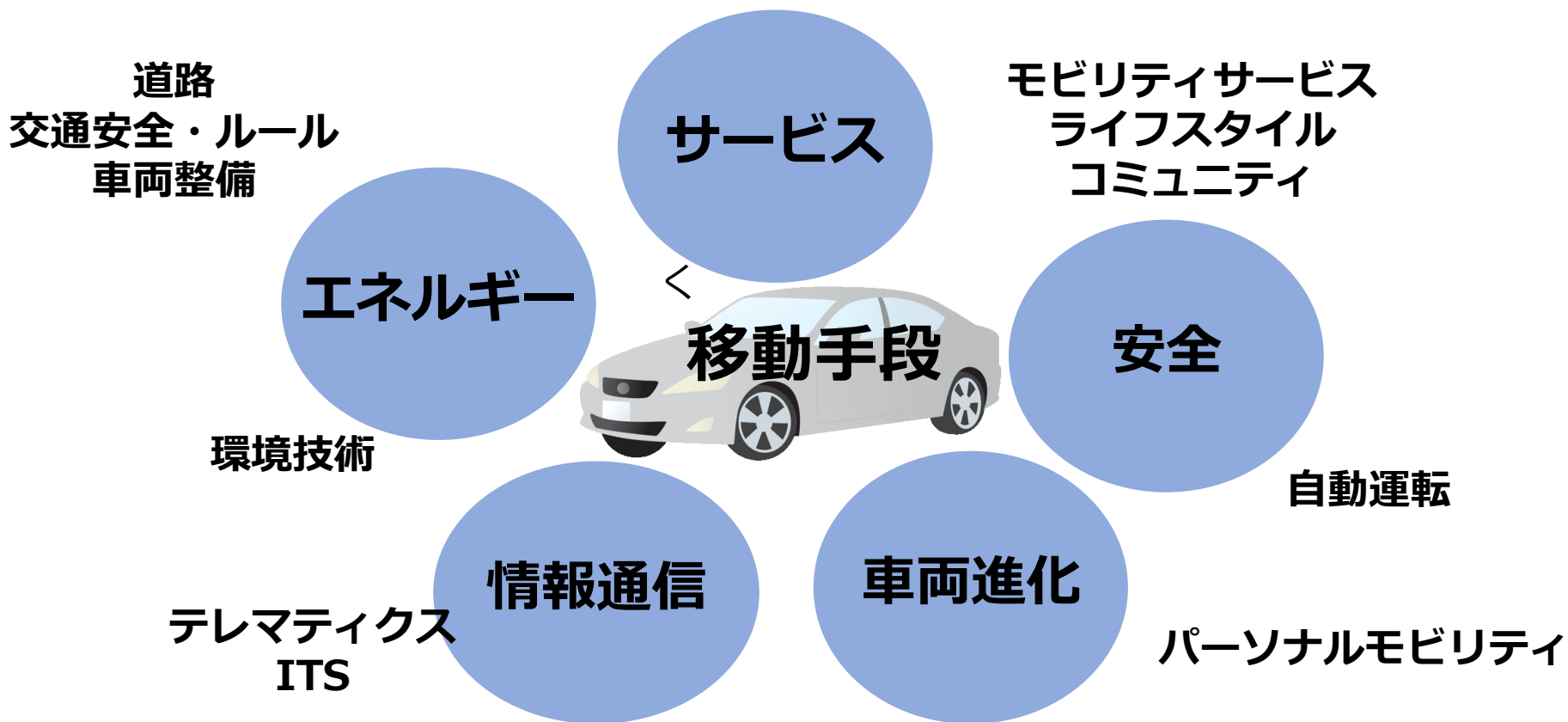
バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

自転車/PMVの進化 クルマを参考に

物・人を運ぶ、観光、スポーツ、通勤、余暇…
テクノロジーを活用して、高齢者も障害者も乗れる



- 歩行者
- 免許不要
- 法整備・量産化
- 時速6km
- 電気で動く
- 自宅で充電
- 約40万程度
- 介護保険適応
- 人に頼まなくて済む

時速6キロのEVで免許返納後の
移動手段

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段の環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシーなど

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

一社ではむずかしそう（連携が必要） 持続可能とは言えない何か突破口が必要

個々人に着目した
心豊かな暮らし



都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段の環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシーなど

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり



人材不足の解決なるか
ANA×ソフトバンクグループ
自動運転バスの取材

日の丸交通とZMPが実証実験 10年後には自動運転タクシーが走る？！ タクシー配車アプリで配車

写真：response



Response.

個々人に着目した 心豊かな暮らし



地域経済の立て直し 自治体は人口減少で財政難

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

公民学産連携で解決しないと難しい

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

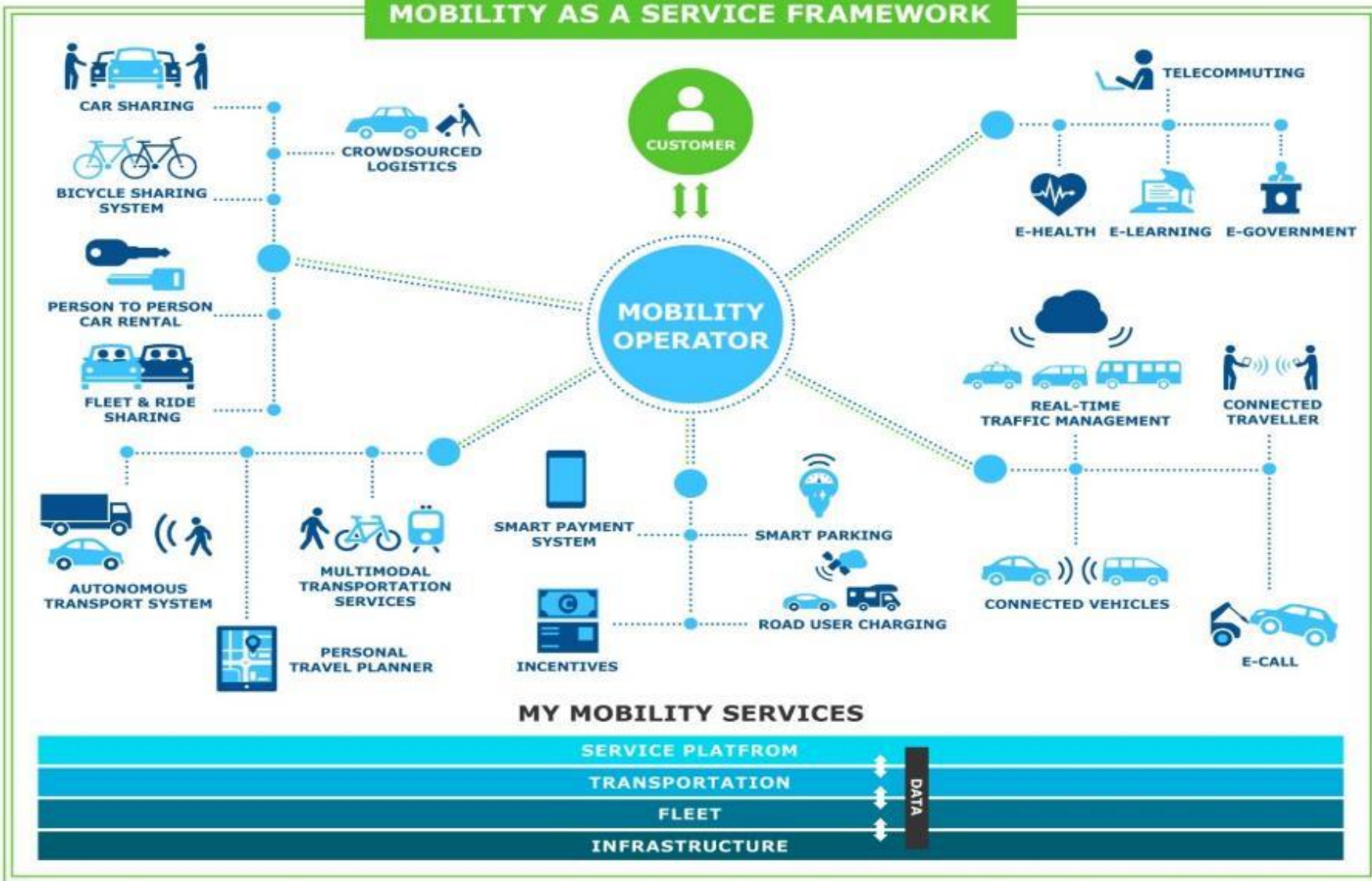
自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

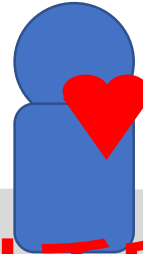
MOBILITY AS A SERVICE FRAMEWORK



Mobility as a Service MaaS

マルチモーダルサービス

個々人に着目した
心豊かな暮らし



移動手段が

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

オープンデータ、オープンAPIでつながる etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

MaaS 日本の特徴

周辺サービスとつながる

個々人に着目した
心豊かな暮らし



移動のみならず

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

オープンデータ、オープンAPIでつながる etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

**レベルが高いほど
良いわけではない**

レベル④

社会全体目標の統合
地域政策との統合 官民連携

レベル③

提供するサービスの統合
パッケージ化、定額制、事業者内の連携など

レベル②

予約・支払いの統合
検索、予約、決済

レベル①

情報の統合
マルチモード移動計画、運行情報

レベル①

統合なし
個々の移動ごとに個別対応



自動車メーカーがMaaSを意識

CASE

Connected コネクテッド

Autonomous 自動運転

Shared & Service シェアリングサービス

Electric 電動化

限定地域における自動運転レベル4

自動運転車は相乗り、ライドシェア、バス、タクシーといった使われ方が想定される

MaaSはCASEを内包

自動運転もMaaSの一つのツール



個々人に着目した 心豊かな暮らし



地域にどんな人が住んでいるのか

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

何を困っているのか

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

飛行機
船

しっかり把握して一緒にお出かけしよう



個々人に着目した 心豊かな暮らし



みんなで観光客を呼び込み

都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業
物流

観光

地域にお金を落として欲しい

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

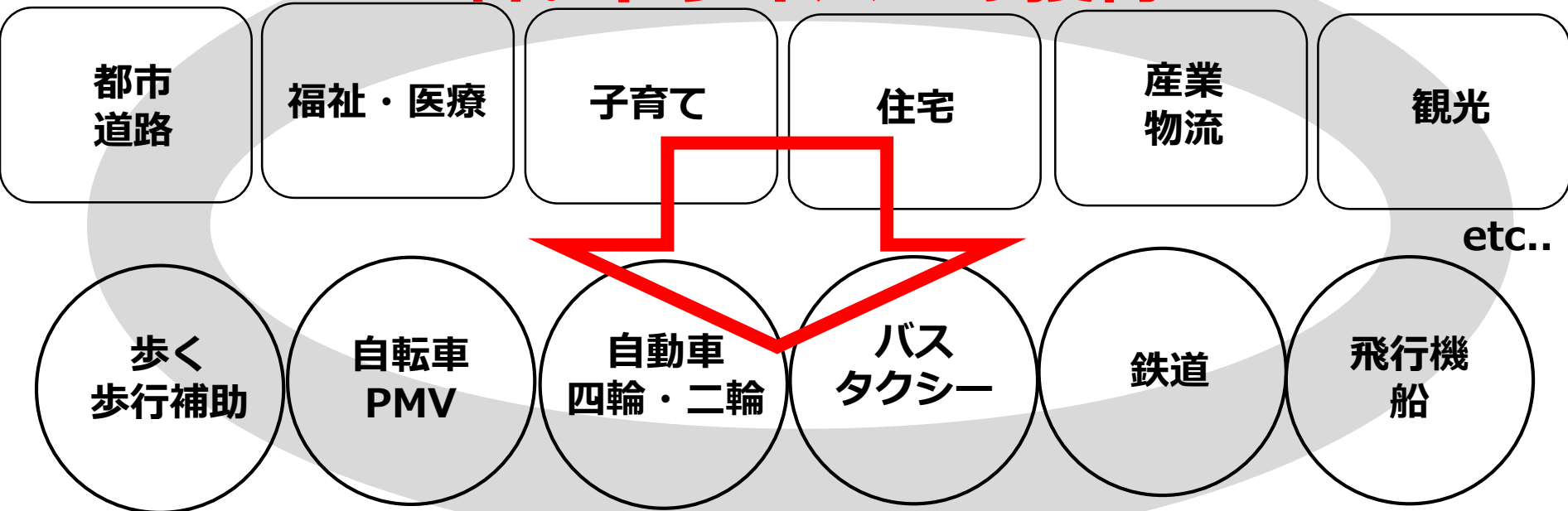
鉄道

飛行機
船

個々人に着目した 心豊かな暮らし



若いドライバーの獲得



ベクトルを逆に考える



先駆事例の特徴と学び

海外

- 合理的かつユーザーファースト
デジタル化が目的化しないように ❶ スイス
- 既存のアプリの高度化が現実的?!
ユーザー獲得が難しい ❶ 欧州
- 自動車メーカーのあるドイツ
都市交通政策が市民レベルまで定着 ❶ ドイツ
- クルマ中心から人間中心のまちづくりへ
過去日本の植民地だった ❶ 台湾高雄
- 自動車の渋滞もコントロールする ❶ 台湾台北



„Mein
DB NAVIGATOR –
die perfekte **Reise-App.**“

0:30 / 0:30



<https://play.google.com/store/apps/details?id=de.hafas.android.db&hl=ja>

日本でのMaaSの動き

2018年後半本格的に動き始めた

- 都市版MaaS
- 地方版MaaS
- 観光版MaaS
- 私鉄沿線版MaaS
- 自治体、交通局版MaaS
- 危機感のある田舎版MaaS
- バス会社MaaS
- タクシー会社MaaS
- 自動運転版MaaS

マルチモーダルパッケージ 日本での期待

日本でのMaaSの動き



2018年後半本格的に動き始めた

- ・ 未来投資会議
- ・ 国交省「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談
中間整理及び今後の課題」
- ・ 経産省
- ・ 小田急
- ・ 東急 「Izuko」
- ・ 西鉄、トヨタ自動車 「my route」
- ・ みちのくホールディングス、ウィラー
- ・ 神姫バス 「Passru」
- ・ MaaSアライアンスの日本版 「JCoMaaS」
- ・ モネテクノロジーズ
- ・ 高松市

「スマートモビリティチャレンジ」 支援対象地域・事業



No.	市区町村 (地域)	都道府県
1	阿寒地域	北海道
2	上士幌町	北海道
3	浪江町・南相馬市	福島県
4	会津若松市	福島県
5	新潟市	新潟県
6	日立市	茨城県
7	つくば市	茨城県
8	前橋市	群馬県
9	横須賀市	神奈川県
10	川崎市・箱根町	神奈川県
11	伊豆地域	静岡県
12	静岡市	静岡県
13	豊田市	愛知県
14	春日井市	愛知県
15	菰野町	三重県
16	志摩地域	三重県
17	永平寺町	福井県
18	大津市	滋賀県
19	南山城村	京都府
20	京丹後周辺地域	京都府
21	神戸市	兵庫県
22	山陰地域	鳥取・島根県
23	大田市	島根県
24	庄原市	広島県
25	瀬戸内地域	香川県
26	大分市	大分県
27	肝属郡3町	鹿児島県
28	八重山地域	沖縄県

● : 経済産業省・国土交通省採択事業
● : 経済産業省採択事業 (パイロット地域分析事業)
● : 国土交通省採択事業 (新モビリティサービス推進事業)

先駆事例の特徴と学び

国内

- 日本にも良いアプリがたくさんある
移動にかかるプロセスをなくす トータルコーディネート
☛ナビタイム
- JR東日本の「モバイルスイカ」をアメリカが絶賛
☛JR東日本
- ITによる世直し 地域の再構築 ☛東急
- みんなで移動の総量を上げる いまあるものをデジタル化するだけ ☛西鉄
- ばらばらにあったものをつなぐ ☛JTB
- 日本は民間サービスゆえに欧州より高度になる 他
サービス×移動

目次



序章 自己紹介

自動車業界を取材する業界紙出身

第1章 暮らし・社会の変化

第2章 各移動手段の環境の変化

(1) 自動車メーカーとディーラー

(2) 自転車とパーソナルモビリティ

(3) バス・タクシーなど

第5章 テクノロジーをうまく活用する時代

(1) MaaSとは 課題解決の概念・ツール

(2) 国内外の事例

第6章 課題解決に向けて

中長期的な戦略づくり、人材育成、仲間づくり

総合的にも

人材・連携不足

分野横断的かつ他のまちの問題と包括的に考えれない

社会の課題解決に移動と連携できていない

個々人に着目した
心豊かな暮らし



都市
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業

観光

etc..

歩く
歩行補助

自転車
PMV

自動車
四輪・二輪

バス
タクシー

鉄道

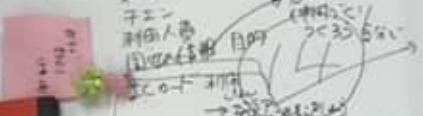
飛行機
船

マーケティングの勉強からはじめよう 公共交通マーケティング研究会

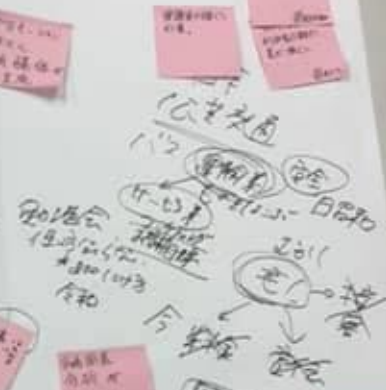


Handwritten notes on pink sticky notes at the top left of the page.

Handwritten notes in the upper middle section, including the characters '情報' (Information) and 'データ' (Data).



Large handwritten characters 'HHT' and '小島' (Shimajima) in the center of the page.



Handwritten text '目的' (Purpose) and '時間' (Time) near the circular diagram.

Handwritten text '経営戦略' (Business Strategy) and '目的' (Purpose) in the lower middle section.

Handwritten text 'ICカード' (IC Card) and '情報' (Information) in the lower right section.

Handwritten text '情報' (Information) and 'データ' (Data) at the bottom right of the page.



● 経営企画
人材・時間ない

● 情報…

→ デジタル

運賃、住民、施設
ICカード普及や活用…
などの情報の把握できて

● 自前、敵対…
他力でも
いいんじゃない…

● 公共交通って何?!
日本って民間サービス

● 「運輸業」

まだ「運輸業」…

モノ安全に運行
昔は乗ってくれた…



「サービス業」
料金、宣伝、接客…

みんなでお客さんを増やそう

街の人流が分かれば、新店舗の進出、都市開発、交通計画、防災、自動運転もできる

敵
バス

敵
バス

敵
徒歩

敵
バス

敵
鉄道

敵
クルマ

敵
タクシー

敵
自転車

日本のMaaSづくりの課題



時代やニーズの変化に

企画ができる人材の育成
組織体制づくり

デジタルテクノロジーをうまく使う
敵対するのではなくみんな
他力でもいいではないか

ご清聴ありがとうございました。



気軽にご連絡ください



モビリティジャーナリスト 楠田悦子

E-mail info@leben-kurashi.com